

実効再生産数

| | |
|------|------|
| 1/10 | 5.68 |
| 1/20 | 2.58 |
| 1/23 | 1.93 |
| 1/31 | 1.46 |
| 2/1 | 1.28 |
| 2/7 | 1.15 |
| 3/14 | 0.93 |
| 3/21 | 0.98 |
| 3/28 | 0.95 |
| 4/4 | 1.05 |
| 4/11 | 1.01 |
| 4/18 | 0.98 |
| 4/25 | 0.97 |
| 5/10 | 0.97 |
| 5/16 | 1.07 |
| 5/21 | 0.97 |
| 5/21 | 0.97 |
| 5/29 | 0.93 |
| 6/6 | 0.90 |
| 6/13 | 0.95 |
| 6/20 | 0.98 |
| 6/25 | 1.01 |
| 7/4 | 1.11 |
| 7/11 | 1.24 |
| 7/18 | 1.23 |
| 7/25 | 1.16 |
| 8/1 | 1.07 |
| 8/6 | 1.02 |
| 8/8 | 1.02 |

全国



実効再生産数

| | |
|------|------|
| 1/10 | 7.46 |
| 1/20 | 3.68 |
| 1/23 | 2.29 |
| 1/31 | 1.50 |
| 2/1 | 1.31 |
| 2/7 | 1.15 |
| 3/14 | 0.97 |
| 3/21 | 1.01 |
| 3/28 | 0.96 |
| 4/4 | 1.19 |
| 4/11 | 1.10 |
| 4/18 | 1.04 |
| 4/25 | 0.92 |
| 5/10 | 1.00 |
| 5/16 | 1.09 |
| 5/21 | 0.97 |
| 5/29 | 0.93 |
| 6/6 | 0.91 |
| 6/13 | 0.90 |
| 6/20 | 0.96 |
| 6/25 | 1.04 |
| 7/4 | 1.11 |
| 7/11 | 1.23 |
| 7/18 | 1.19 |
| 7/25 | 1.15 |
| 8/1 | 1.09 |
| 8/6 | 1.04 |
| 8/8 | 1.04 |

宮崎



実効再生産数

| | |
|------|------|
| 1/10 | 24.3 |
| 1/20 | 4.69 |
| 1/23 | 2.38 |
| 1/31 | 1.30 |
| 2/1 | 1.05 |
| 2/7 | 0.93 |
| 3/14 | 1.00 |
| 3/21 | 1.02 |
| 3/28 | 0.96 |
| 4/4 | 1.06 |
| 4/11 | 1.03 |
| 4/18 | 0.99 |
| 4/25 | 0.99 |
| 5/10 | 0.97 |
| 5/16 | 1.04 |
| 5/21 | 0.96 |
| 5/29 | 0.93 |
| 6/6 | 0.89 |
| 6/13 | 0.92 |
| 6/20 | 0.96 |
| 6/25 | 1.03 |
| 7/4 | 1.80 |
| 7/11 | 1.26 |
| 7/18 | 1.23 |
| 7/25 | 1.18 |
| 8/1 | 1.06 |
| 8/6 | 1.00 |
| 8/8 | 0.99 |

福岡



直近1週間の人口10万人あたりの感染者数

(8月8日時点) 人



宮崎県10-10-9位-7位-7位-5位
(7/11, 7/18, 7/25, 7/27, 8/6, 8/8)

日本経済新聞 チャートで見る日本の感染状況 新型コロナウイルス
2020年4月10日公開 2022年07月28日更新

宮崎県DATA (8/9)

医療機関入院中**206名(延25)**

宿泊療養施設入所中**184名(延15)**

自宅等療養者**18687名**

入院実働ベット専有率

(延**86.2%**) 高齢者施設 重症多数

県延ICU満床状態
重症患者収容困難

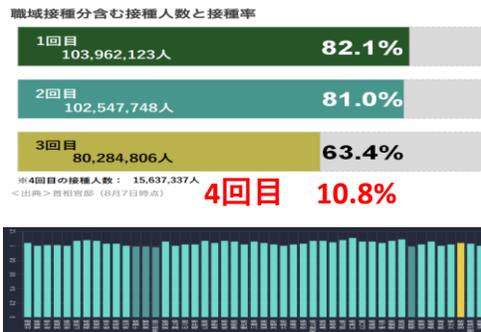
医師会病院機能不全
新規コロナ患者受け入れ不能 (職員の濃厚接触者多数)

飲酒を伴う会食での感染増加、家族内感染、高齢者施設、障害者施設、学校・保育園などの感染が急激に増加している また、他県からの観光客、仕事、帰省者の発生も急増している
現在下げ止まり状態から増加傾向、これから増加傾向、
7月中旬以降**BA.5**に置き換わりさらに増加し、8月のお盆休み前後にピークその後9月後半には減少する
もしくはBA.2.75の影響で遷延化する可能性もあり



最大数 デルタ27人、BA.1: 70人、BA.2: 99人、BA.5: 322人

国内のワクチン接種状況



実効再生産数

千葉、東京、神奈川、福岡が1未満

延岡市の実効再生産数

| | |
|------|------|
| 5/16 | 1.26 |
| 5/23 | 1.09 |
| 5/30 | 0.74 |
| 6/3 | 0.76 |
| 6/7 | 0.92 |
| 6/14 | 0.68 |
| 6/21 | 0.95 |
| 6/25 | 0.92 |
| 7/5 | 2.18 |
| 7/12 | 1.54 |
| 7/19 | 1.71 |
| 7/26 | 1.72 |
| 8/2 | 1.17 |
| 8/7 | 1.25 |
| 8/9 | 1.09 |

国内データー

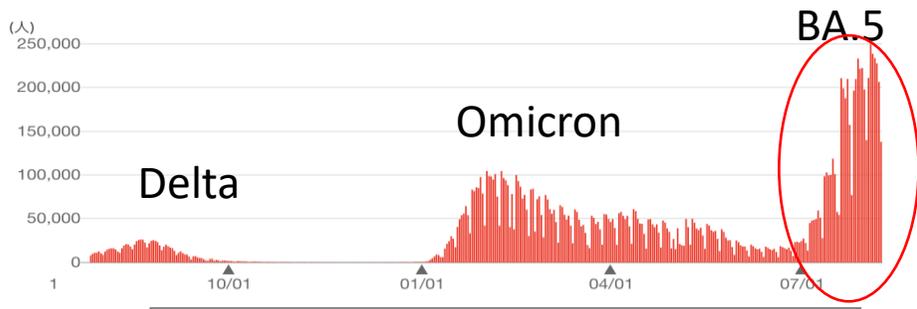
新規陽性者数の推移（日別）

情報更新日：2022年08月08日

新規陽性者数
137,826人
前日比 ↓ **68,637**人

1週間平均 **215,016**人
前週平均 **202,897**人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 1年

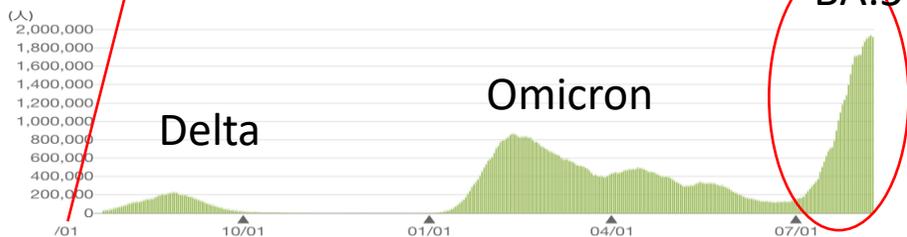


入院治療等を要する者等推移

情報更新日：2022年08月08日

| | | | |
|------------|------------|---|---------|
| 入院治療等を要する者 | 1,927,404 | ↓ | 18,600 |
| 退院又は療養解除者数 | 12,328,617 | ↑ | 193,070 |
| 確認中 | 118,904 | ↓ | 19,575 |

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 1年



入院治療必要患者急増

死亡者数の推移

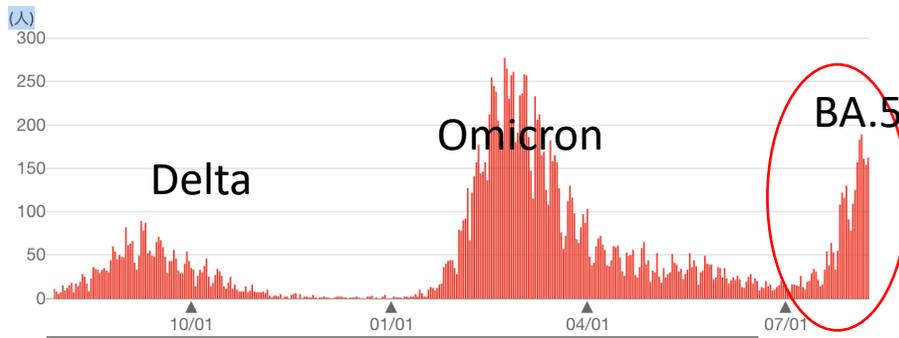
オミクロン株の方が死亡者多い

情報更新日：2022年08月08日

死亡者数
162人
前日比
↑ **8**人

死亡者数急増
今後さらに増える

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 1年

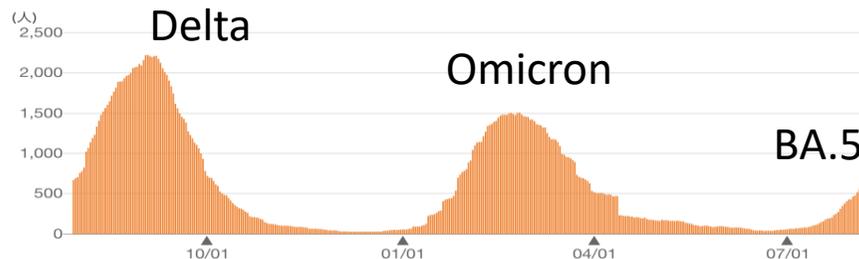


重症者数の推移

情報更新日：2022年08月08日

重症者数
581人
前日比
↑ **26**人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 1年



施設で亡くなった人は重症者にカウントされない

宮崎県 8/5発令

BA.5対策強化宣言について

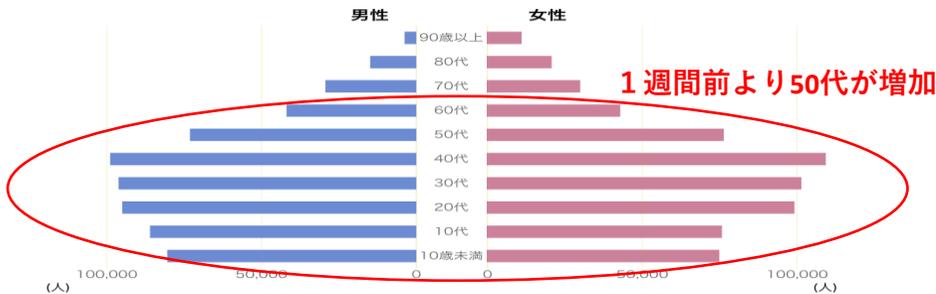
BA.5対策強化宣言の内容

| | |
|----------------|--|
| 対象地域 | <ul style="list-style-type: none"> 都道府県が独自に判断 |
| 住民への主な要請・呼びかけ | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な感染対策の徹底 ワクチン接種（3回目、4回目）の推進 高齢者などの混雑した場所への外出自粛 検査キットの配布事業の活用 |
| 事業者への主な要請・呼びかけ | <ul style="list-style-type: none"> テレワークの推進 高齢者施設や学校・保育所などの感染対策の強化 飲食店での適切な換気、座席間隔の確保 大人数での会食は参加者への事前検査を促す |
| 罰則 | <ul style="list-style-type: none"> なし |

画像制作：Yahoo! JAPAN（政府の発表を元に作成）

性別・年代別新規陽性者数（週別）

情報更新日(週次)：2022年08月02日



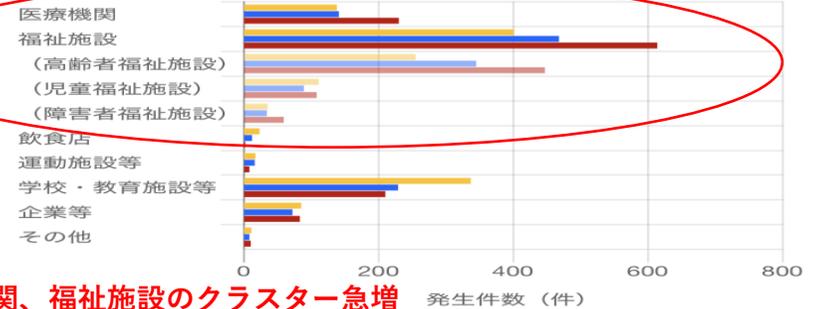
上記グラフに以下の人数は含まれない。
性別・年代不明・非公表等 11,816 人

現在40歳以下が感染者の主流→高齢者に以降→死亡者数増加
↓
乳幼児の感染者増加→医療機関職員感染&濃厚増加→機能不全

集団感染等発生状況

情報更新日(週次)：2022年08月04日

1週間前 (1週間合計) **1157** 件
2週間前 (1週間合計) **946** 件
3週間前 (1週間合計) **1012** 件



医療・福祉施設のクラスター増加

死亡者数増加

対策

数的医療崩壊
質的医療崩壊

行動制限
ワクチン接種
早期治療

5～11歳の新型コロナウイルスワクチン接種の意義について

- 延岡市でも、子供の感染が増えてきて、酸素投与を必要とする中等症～重症の症例が増加傾向にある。
- 長期化する流行による行動制限が子供の身体的及び精神的成長を阻害する。
- 感染による、喘息などの呼吸器疾患、心疾患、腎疾患などの基礎疾患が悪化する症例が増加している。
- 子供でも感染後の後遺症として、**brain fog** (頭の中に霧があるような何も考えられなくなる状態)、全身倦怠感の持続、味覚・嗅覚障害の持続、免疫異常の惹起（ギランバレー症候群、川崎病、膠原病など）の報告が、増加傾向にある。
- 今後さらに、さまざまな変異株が流行する可能性が推定される。
- 臨床試験及び国内外の使用例で重篤な副反応の発現頻度は非常に低い。
- 副反応の頻度は成人よりも低く、特に心筋炎については重篤な心筋炎の発現は報告されていない。
- ワクチンの有効性は、成人と同等である。
- 現時点で治療に有効とされる、抗体薬や経口薬は12歳未満では使用できない。



以上より、新型コロナウイルスワクチンの接種は、意義があると考えられる

厚生労働省 小児コロナワクチン「努力義務」に…接種を後押ししたい考え

8/8(月) 19:13 配信 685

日テレNEWS



日テレNEWS

厚生労働省の専門家会議は5歳～11歳の子どもへの**新型コロナ**ワクチンの接種について、オミクロン株に対する有効性などの科学的知見が十分示されたとして、保護者の「**努力義務**」とすることを了承しました。

これまで、科学的知見を整理する必要があるとして見送られていましたが、「努力義務」とすることで接種を後押ししたい考えです。

接種は強制ではなく、最終的には、あくまでも、ご本人が納得した上で接種するか判断する。

努力義務とは

「**接種を受けるよう努めなければならない**」という予防接種法の規定のことで、義務とは異なります。感染症の緊急のまん延予防の観点から、皆様に接種にご協力をいただきたいという趣旨から、このような規定がある。(予防接種法第9条の規定)

予防接種法に基づいて行われる定期接種の多くのもの(4種混合、麻しん、風しんの予防接種など)にも、同じ規定が適用

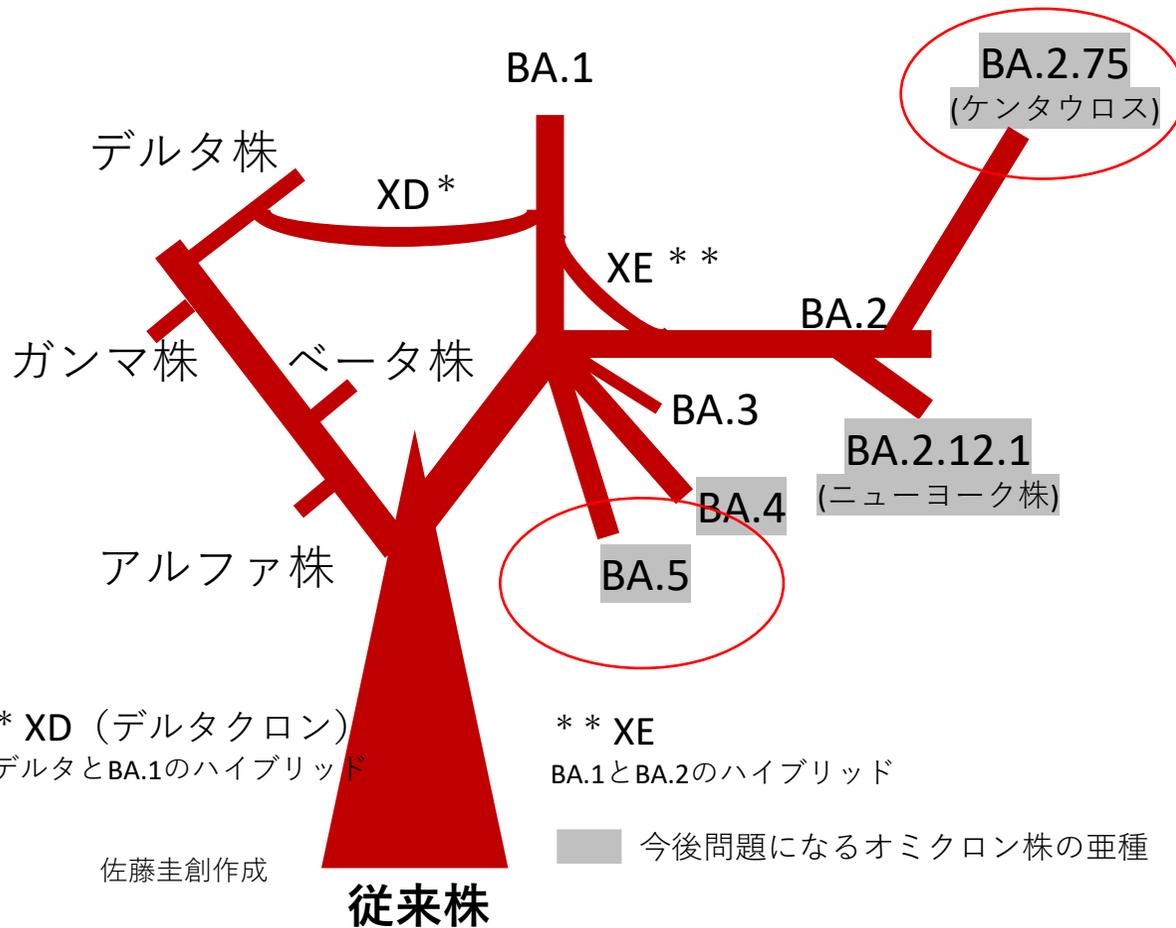
国内外の接種の臨床データにて

- 1) 安全性が担保された
- 2) 有効性が確認された
- 3) 小児の感染急増
- 4) 小児の後遺症が増えた
- 5) 将来にわたる免疫異常の可能性
- 6) 小児が感染拡大のスプレッダーになっている(症状が軽いのに、ウイルス量が多い)
- 7) 海外では、努力義務にして感染者が減少した



努力義務にして多くの子どもさんにワクチン接種を！

新型コロナウイルスの変異株及びオミクロン亜種



- オミクロン変異株は、オミクロン株出現以前のアルファ、ベータ、ガンマ、デルタ株とは、大きく系統が異なる。
- オミクロン亜種は、ハイブリットタイプ（XDやXEなど）とオミクロン株から別れて出来たもの（BA.1～5）とがある。
- 別れた枝が、離れていればそれだけ遺伝子情報や抗原となるタンパク質も異なる＝ワクチン効きにくい
- この中で、BA.4、BA.5、BA.2.12.1が今後、流行する恐れがある

オミクロン亜系統BA.4/5、BA.2.75の特徴

| | BA.2 | BA.4/5 | BA.2.75 |
|-----------------|------|-------------|---------|
| 感染力 | ○ | ◎ | 強い可能性 |
| 再感染性 | ○ | ◎ | 現在不明 |
| 免疫をすり抜ける力 | ○ | ◎ | 高い可能性 |
| 現行ワクチンでの中和抗体の効果 | 低い | BA.2の4倍程度低い | 低い |
| ワクチンによる感染予防効果 | 低い | さらに低い | 低い可能性 |
| ワクチンによる重症化予防効果 | 維持 | 明らかな差はない | 現在不明 |

| オミクロン亜種 | 初発生地域 | 感染拡大地域 | 国内 | 感染力 (BA.2と比較) | ブースター接種*の必要性 | 変異1 | 変異2 |
|-----------|-------|---------------------|-----------|---------------|--------------|-----------|---------|
| BA.4 | 南アフリカ | 南アフリカ、ポーランドなどのヨーロッパ | すでに市中感染確認 | 1.2倍 | 大 | L452R変異あり | D3N変異なし |
| BA.5 | 南アフリカ | 南アフリカ、ポーランドなどのヨーロッパ | すでに市中感染確認 | 1.2倍 | 大 | L452R変異あり | D3N変異あり |
| BA.2.12.1 | アメリカ | 米国全体 | すでに市中感染確認 | 1.23倍 | 大 | L452Q変異あり | |

BA.1,2と異なりL452の変異あれば、BA.4,5,2.12.1
L452R変異あり、D3N変異なし→BA.4
L452R変異あり、D3N変異あり→BA.5
L452R変異ではなく→L452Qであれば→BA.2.12.1

* ブースター接種：3回目以降のワクチン接種